

令和元年度決算に係る

定期監査資料

令和2年5月

鳥取県立博物館



## 目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	職員の定員、現員調べ	1 頁
4	役付職員の調べ	1 頁
5	主な事業に関する調べ	2 頁
6	決算資料（総括表）	16 頁
7	事業別実施状況調べ	16 頁
8	予備費の充用調べ	16 頁
9	繰越関係調べ	16 頁
	(1) 継続費通次繰越調べ	
	(2) 繰越明許費調べ	
	(3) 事故繰越調べ	
10	収入証紙取扱額調べ	17 頁
11	現金の取扱状況	17 頁
12	財産に関する調べ	17 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
13	財産の貸付け及び使用許可調べ	19 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの）	
14	借受不動産明細調べ	20 頁
15	職員駐車場の管理状況調べ	20 頁
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
16	寄附物件の受納状況調べ	21 頁
17	備品の処分状況調べ	22 頁
18	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	22 頁
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
19	貸付金等状況調べ	22 頁
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
20	博物館運営	23 頁
	(1) 管理運営	
	(2) 利用状況	
21	博物館資料保有状況	38 頁



1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項  
該当なし

(2) 監査意見  
該当なし

(3) 決算審査意見  
該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況  
該当なし

3 職員の定員、現員調べ

(令和2年4月1日現在)

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	当該 年度	31.4.1 現在	当該 年度	31.4.1 現在	当該 年度	31.4.1 現在	当該 年度	31.4.1 現在	
定 員	5	9	18	18	0	0	23	27	
現 員	(1) 6	(1) 10	( ) 18	( ) 17	( ) 0	( ) 0	(1) 24	(1) 27	・育児休業：事務職員1名
過不足(△)	1	1	0	△ 1	0	0	1	0	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤 職員	4	4	40	41	3	3	47	48	・事務4名（一般事務2名、事務補助1名、複写機オペレーター1名） ・技術40名（史料補修専門員3名、資料管理専門員1名、昆虫標本専門員1名、広報・普及専門員1名、受付5名、看視員29名） ・現業3名（警備員3名）

4 役付職員の調べ

(令和2年5月1日現在)

職 名	氏 名	在職期間		備 考
		年	月	
館長	田中 規靖	3	1	教育委員会 理事監
副館長	尾崎 信一郎	1	1	教育委員会 参事監 継続勤務期間14年4月
副館長兼学芸課長	上山 憲二	2	1	
総務課長	藤原 浩	2	1	出納員
美術振興課長	三浦 努	0	1	継続勤務期間18年1月
総務課課長補佐	森田 佳代	0	1	
総務課課長補佐	岩成 安雄	0	1	
主幹学芸員	川上 靖	9	1	継続勤務期間20年
主幹学芸員	福代 宏	6	1	継続勤務期間27年1月
主幹学芸員	清末 幸久	7	1	

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
企画展開催費	81,719		10,519	71,201
鳥取元気プロジェクト	—			
元気づくり総合戦略	—			

(概要)

鳥取県に関わりのある自然、歴史・民俗、美術並びに国内外の博学・美術の魅力を広く県民に紹介する企画展を開催した。

【ニューヨーク・アートシーン展 — ニューヨーク・アートシーン—ロスコ、ウォーホルから草間彌生、バスキアまで滋賀県立近代美術館コレクションを中心に —】

○当該企画展に係る決算(見込)額

(単位：千円)

予算額	決算(見込)額	同左財源	
		入館料収入	一般財源
13,974	13,707	2,413	11,294

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

- ・改修のため長期休館に入った滋賀県立近代美術館が所蔵する日本屈指の戦後アメリカ美術に関するコレクションを中心に関西、四国の美術館からも関連作品を借用して、現代美術の流れを系統的に紹介する展覧会を本館が中心になって組織し、全国巡回させる。
- ・山陰ではほとんど紹介されたことのない戦後アメリカ美術の優品を多数展示することによって、現代美術のスケールや素材観といった新鮮な魅力を伝え、現代美術のファンの期待に応える。
- ・現代美術という比較的なじみの薄い対象に親んでもらうために普及的な事業にも力を入れ、子供向けのガイドブックや対話型鑑賞といった新しい試みを導入する。

(イ) 事業の実施状況

- ・滋賀県立近代美術館をはじめ、関西と四国の美術館から借用した大作100点余によって展示を構成し、カタログも資料性の高い教科書的な内容をめざした。
- ・会期中は学校を相手とした団体解説を繰り返し行い、また対話型鑑賞等普及関係の新しい試みも実施した。

会期	入館者数	目標
平成31年4月13日(土)～5月19日(日)[36日間(休館日5月7日)]	6,226人	6,000人

※うち有料入館者数：3,532人(入館者数の56.7%)

<入館者の地域別割合>アンケート回答者

地域	県東部	県中部	県西部	県外	無回答	計
人数	687	101	130	214	5	1,137
割合[%]	60.4	8.9	11.4	18.8	0.4	100

<関連事業参加者数>

内容	参加者数
スペシャルギャラリートーク・ギャラリートーク(4/13・5/18)	95人
映画上映会「ニューヨーク ジャクソンハイツへようこそ」(4/20)	42人
特別講演会(池上裕子氏 4/27)	32人
アートセミナー(5/11)	38人

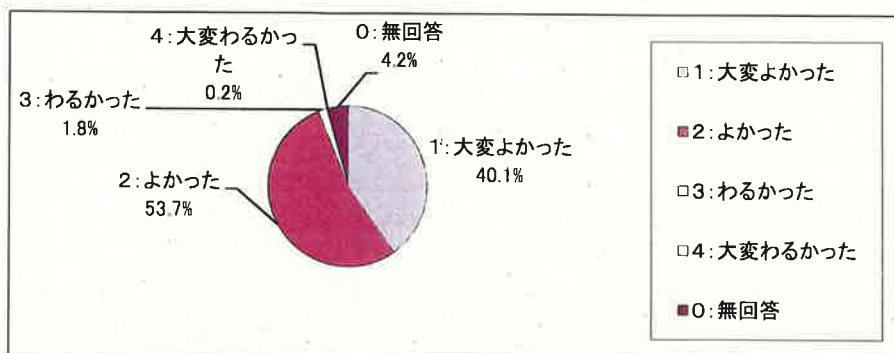
イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・近隣の小中学校、高校に積極的に展覧会をPRし、結果的に大量の児童、生徒の来場を促すことができた。
- ・新聞やテレビにも積極的に広報をはかり、多くの新聞や番組で紹介された。
- ・(一財)地域創造より、公立美術館共同巡回展開催助成事業助成金を受け、活用した。

ウ 成果及び効果

- ・山陰では紹介される機会がほとんどなかった戦後アメリカ美術を大作や作家の代表作で紹介する展示となり、多くの来場者から内容に満足したとの声が寄せられた。これほどの大規模展を幹事館として巡回させたことも館として、今後に生かせると考える。
- ・入館者目標の6,000人に対し、実績は6,226人と上回り、特に若年層の入場者が多かった。

<入館者の満足度等>アンケート回答より



感想 (主なもの)

- ・これだけの作品を一同に観られることは、なかなかないのでとても良かった。
- ・デュシャンやウォーホルなど有名処がおさえてあったことも良かったが、時代背景の景の解説やアメリカにおけるアートの遍歴も分かりやすく、発見があった。これまで表面的にしか知らなかったアメリカのアートの流れやスタイルを一同に観られた点が良かった。
- ・山陰で現代絵画を見る機会はなかなかなく、今回まとめて見ることが出来て良かった。
- ・パネル解説が良く、絵を見る助けになった。

エ 課題

- ・来場者数は目標を上回り、特に若い層や学校を介しての来場が多かったことは、今後このような展覧会を実施するにあたって大きな励ましとなるものであった。
- ・一方でなおも現代美術に対する一種の拒否反応が認められたことは否定できない。今回は会場にワークシートや解説キャプションを多数配置して、言葉を介した説明にも力を注いだ。今後はオーディオガイドの導入や映像による紹介などさらに多角的な説明を準備することが課題とされるだろう。

【手塚治虫のメッセージ ～人と動物、共に生きるために～】

○当該企画展に係る決算(見込)額

(単位:千円)

予 算 額	決算(見込)額	同左財源	
		入館料収入	一般財源
20,620	19,551	2,238	17,313

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

- ・初の試みとして自然科学とマンガをコラボレーションさせた展覧会を、手塚プロダクションの協力を得て実施する。
- ・人との関わりの中で消えていった動物や、今まさに地球で起きている問題を、手塚治虫の作品とともに紹介

し、これからの人と動物の関係について考える。

(イ) 事業の実施状況

- ・竹島で射殺されたニホンアシカ「リャンコ大王」の剥製や、絶滅したニホンオオカミの頭骨をはじめ、鳥取県の絶滅種などを展示した。手塚治虫の作品は、人と動物の関係を扱った7作品を紹介した。原画は5作品110枚を展示し、「ころすけの橋」「ロロの旅路」については全ページの原画を世界初展示した。「山太郎かえる」は、アニメを会期中くり返し放映した。また「ジャングル大帝 劇場版」の上映会も行った。
- ・人と動物の関係を考えるため、当館のオオサンショウウオを主人公にしたオリジナルマンガ「オオサンショウウオの恋」を制作し、会場で紹介するとともに販売も行った。

会 期	入館者数	目 標
令和元年7月13日(土)～8月25日(日)[44日間(会期中無休)]	8,841人	8,000人

※うち有料入館者数：2,928人（入館者数の33.1%）

<来場者の地域別割合>アンケート回答者

地域	県東部	県中部	県西部	県外	無回答	計
人数	81	16	8	43	2	150
割合[%]	54.0	10.7	5.3	28.7	1.3	100

<関連事業参加者数>

内 容	参加者数
映画上映会「ジャングル大帝(劇場版)」(7/27(2回上映))	計149人

イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・自然科学とマンガをコラボレーションさせた展覧会を企画・実施することで新しい客層を開拓した。
- ・手塚治虫の世界初公開の原画(5作品110枚)を展示した。
- ・人と動物の関係を考えるため、当館のオオサンショウウオを主人公にしたオリジナルマンガ「オオサンショウウオの恋」を、手塚プロダクションと共同制作し、会場で紹介するとともに販売した。
- ・会場内でアニメ「山太郎かえる」を全日繰り返し上映した。
- ・来場者が絵と文章で手塚治虫へメッセージを送るコーナーを設けた。
- ・報道機関(新日本海新聞社)と共催することで、県民への告知を強化し、手塚治虫グッズやマンガの販売を行った。

ウ 成果及び効果

- ・来館者アンケートでは、よかったと回答された方が100%(大変よかった76%・よかった24%)であり、本展への共感や感動のメッセージが多数寄せられ、極めて満足度が高かった。
- ・県外者、自然に関心のない方々の来館が多く、新しい客層を開拓できた。これは手塚治虫やマンガのファンの来館によると思われ、広く鳥取県立博物館を知ってもらうことに繋がった。
- ・博物館同業者や教育関係者などの企画や教育をする立場の方々から高い評価を得た。これは集客優先のイベント的企画でなく、社会への問題提起と教育効果を考えた企画内容であることが評価されたものと思われる。海外での展示の動きも始まった。
- ・外来種問題を考えるオリジナルマンガ「オオサンショウウオの恋」は大好評であり、館内ショップで407冊が売れ、教育機関配布分などもあわせて600冊が出た。県内の高校をはじめ、大学やNPO、大分県の宇佐市教育委員会などからの注文もあり、学校教育等で利用されるとのことである。

エ 課 題

- ・従来の自然系企画展と比較して、家族連れや子供の来館が少なく、大人の個人での来館が多かった。理由と



して、自然や動物の展覧会と思われなかったことが考えられた。新しい客層の開拓と裏表ではあるが、集客戦略として課題が残った。

### 【殿様の愛した禅 黄檗文化とその名宝】

○当該企画展に係る決算（見込）額 (単位：千円)

予 算 額	決算(見込)額	同左財源	
		入館料収入	一般財源
19,760	19,087	1,429	17,658

#### ア 目的及び事業の実施状況

##### (ア) 目的

- ・江戸時代の鳥取とゆかりの深い黄檗宗について、本山である宇治・萬福寺や鳥取藩主池田家の菩提寺である興禅寺の名宝をもとに紹介した。

##### (イ) 事業の実施状況

- ・展覧会の前半は、江戸時代初めに日本国内で一世を風靡した中国明・清時代の最新文化である「黄檗文化」の諸相を、重要文化財をはじめとした美術作品を通じて紹介し、後半は鳥取池田家の黄檗宗帰依と菩提寺である興禅寺について、歴史資料や仏像彫刻を中心にその歴史をたどった。

- ・これまで、黄檗や中国文化という視点で江戸時代の鳥取を紹介した展覧会はなく、また、中四国地方ではじめて行われた本格的な黄檗展ということもあり、鳥取県の文化史に新たな1ページを加えることができた。

会 期	入館者数	目 標
令和元年 10月5日(土)～11月4日(月・振) [31日間]	3,933 人	4,000 人

※うち有料入館者数：2,097人（入館者数の53.3%）

#### <入館者の地域別割合>アンケート回答者※会場は鳥取県立博物館

地域	県東部	県中部	県西部	県外	無回答	計
人数	83	8	10	5	8	114
割合[%]	72.8	7.0	8.8	2.6	7.1	100

#### <関連事業参加者数>

内 容	参加者数
開会式(黄檗青年僧の会による梵唄、鳥取県立八頭高等学校書道部による書道パフォーマンス) (10/5)	100 人
特別講演会「黄檗宗と明清文化の流行」 (10/5)	61 人
ギャラリートーク (10/6)	14 人
ギャラリートーク (10/12)	30 人
歴史講座「こちずぶらり(栗谷編)」 (10/13)	15 人
歴史講座「黄檗リレートーク」 (10/20)	91 人
ギャラリートーク (10/20)	30 人
歴史講座「煎茶を楽しむ会」 (10/27)	40 人
ギャラリートーク (11/4 午前・午後2回)	100 人

#### イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・展覧会の構成において各章に目玉となり、なおかつインパクトのある展示物を展示し、キャプション類も平易な言葉をなるべく使用したところ、仏教史や歴史に詳しくない来館者から好評であった。
- ・仏像（興禅寺蔵）についてすべて撮影OKとしたところ、多くの方が撮影されており、好評を博した。

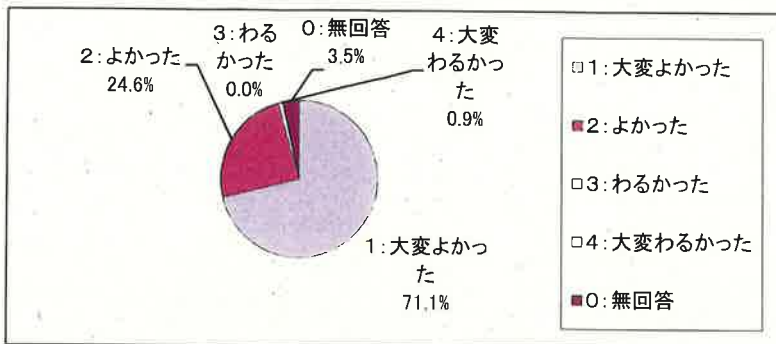
ウ 成果及び効果

- ・ 専門家からは、展示品はどれも質が高く全国巡回可能なレベルのものが揃っている等高評価であった。
- ・ 山陰中央テレビジョン放送株式会社と共催したことにより、広く県民に告知することができた。

<入館者の満足度等>アンケート回答より:回答数 114 人

① 展覧会満足度

- ・ 「大変よかった、よかった」の回答が全体の約 95.7%と、入館者の高い満足度を示した。



② 感想 (主なもの)

- ・ 鳥取に加え黄檗宗の全国的な展開、時代背景や大名や僧らとの交流もよくわかり、黄檗のイメージがより鮮明になった。
- ・ 黄檗文化が意外に世の中にあふれていると感じた。宗教などと絡むことで文化とは一般生活に馴染んでいくものだった。
- ・ キャッチフレーズ (みんなだいすきおおばく) や殿様キャラがちよいちょいツボだった。
- ・ 鳥取にゆかりが深く、テーマも明確でブレなく、その世界に入って観ることでできた。
- ・ 歴代藩主の肖像と位牌は圧巻だった。
- ・ “みつなかくん” キャラのコメントが良い。少一しカジュアルな雰囲気もあり、馴染みやすかった。
- ・ 撮影コーナーは面白い試みで良かった。ただ、周囲が静かなので撮影する勇気がなかった。残念。

エ 課題

- ・ 本展覧会だけでなく、人文系の展覧会に共通する課題であるが、来館者の年齢層が高く、若年層の来館が少ないという問題がある。若年層でも楽しめる展示や若年層に届く広報の工夫が必要。
- ・ 黄檗宗の鳥取県内の伝播の中心は東部と西部であるが、展覧会調査で全寺院を確認したところ、西部地区の寺院には資料がほとんど残っていなかったことから、結果として東部地区中心の展示品となった。そのことが一部の西部からの観覧者には不満だったようである。
- ・ (関西では黄檗美術ファンが多いため) 県外に積極的に広報すべきであった。

【生誕 120 年 芸術写真の神様 塩谷定好とその時代】

○当該企画展に係る決算 (見込) 額

(単位: 千円)

予算額	決算(見込)額	同左財源	
		入館料収入	一般財源
16,841	16,384	822	15,562

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

- ・ 大正末から昭和初期にかけて隆盛した「芸術写真」の第一人者である塩谷定好(しおたに・ていこう 1899 年～1988 年)の生誕 120 年を記念し、その業績を顕彰する。
- ・ 同時代に活動していたアマチュア写真家たちの作品も塩谷作品とあわせて展覧し、「芸術写真」の時代とその精神について検証する。

(イ) 事業の実施状況

・鳥取県で初の塩谷定好の回顧展として、よく知られる戦前の芸術写真から、知られざる戦中戦後の作品まで約200点を年代順に紹介し、その作品の変遷を示すことを試みた。また、あわせて同時代の芸術写真の動向として、時代をリードした塩谷の先輩格にあたる作家や、同じ流派に所属した写真サークルおよび鳥取県内のアマチュア写真家たちの作品も展覧することで、塩谷の写真史的な位置づけを比較考慮できる展示を行った。

会 期	入館者数	目 標
令和元年11月16日(土)～12月15日(日) [30日間(休館日：12月2日)]	2,498人	2,400人

※うち有料入館者数：969人（入館者数の38.8%）

<入館者の地域別割合>アンケート回答者

地域	県東部	県中部	県西部	県外	無回答	計
人数	258	75	38	74	2	447
割合[%]	57.7	16.8	8.5	16.6	0.4	100

<関連事業参加者数>

内 容	参加者数
ギャラリートーク 特別ゲスト：塩谷晋氏 (11/16)	46人
アートツアー「塩谷定好の赤碕」を巡るツアー	20人
映画上映会「パリが愛した写真家ロベール・ドアノー〈永遠の3秒〉」 (11/30)	45人
特別講演会「塩谷定好とその時代」 (12/7)	35人
ギャラリートーク 特別ゲスト：池本喜巳氏 (12/14)	52人

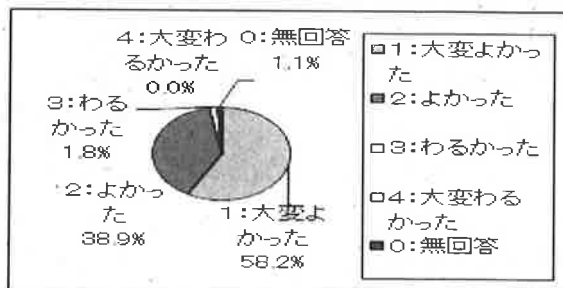
イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・年代順に作品を展示し、その変遷がわかるようにコーナー毎に解説を付けるなど、初見でもわかりやすい会場構成を心掛けた。
- ・鳥取県にゆかりのある芸術家という地の利を生かし、赤碕町の塩谷定好写真記念館や実際に塩谷を知る方々に広報や関連事業など、全面的に協力いただき実施した。
- ・来場者増につなげるため、鳥取県写真家連盟をはじめとする写真愛好家の団体に広報物の配布などに協力いただくよう働きかけた。また、美術手帖等美術専門の全国的なウェブサイトへのプレスリリースや、NHK鳥取放送局、バードFMといった地元メディアへの出演などを行った。

ウ 成果及び効果

- ・洋画の前田寛治や彫刻の辻晋堂と並んで鳥取県を代表する作家である塩谷は、写真というジャンルのハンディキャップもあって未だ検証は始まったばかりであるが、本展で作品の質量ともに国内屈指の作家であること、また県内の写真界に大きな影響を与えた人物であることの認知をある程度広めることができた。
- ・入館者目標の2,400人に対し、実績は1,638人と達成率は68.2%であった。

<入館者の満足度等>アンケート回答より



感想（主なもの）

- ・鳥取で塩谷定好及び同世代の写真家（鳥取内外）を観る機会はなかなか無い。このような機会があって良かった。
- ・塩谷定好のことを知らなかった。鳥取に住みながらこのような活動をされたこと、その作品を見ることが出来て大変良かったと感じる。
- ・年代ごとにどのような作品が多かった等説明が丁寧で見易かった。展示背景の壁も色分けされていて良かった。
- ・普段写真が身近なものと思い込んでいて、美術的な作品とあまり考えていなかったため新しく感じられた。

エ 課題

- ・大正時代の写真を「芸術作品」として認識されることがまだまだ不足しているように感じた。全国的に名を知られている植田正治との関係性や、近年海外での評価が高くなっている点にフォーカスして紹介したほうが、集客的にも、また展示内容としても良かったと思われる。
- ・本展はNKTとの実行委員会形式で実施し、テレビCM等広報面に力を入れたが、目標入館者数に達することはできなかった。アンケートでもテレビを見て来館した割合（8.3%）は達しているが、一方でポスター、チラシ、口コミがいずれも20%以上と有効であり、今後は上記の数字を踏まえて、常連を対象とした広報、20代～30代の若い世代の新規の来場者獲得のためSNSの積極的活用等広報に力点を置くことも必要である。

【一 静寂なる砂の景 — 生誕100年 國領經郎展】

○当該企画展に係る決算（見込）額 （単位：千円）

予 算 額	決算（見込）額	同左財源	
		入館料収入	一般財源
13,392	12,991	409	12,582

ア 目的及び事業の実施状況

（ア）目的

- ・砂丘や砂浜を舞台とした情感豊かな絵画作品を数多く描いたことで知られ、日本芸術院会員で日展を中心に活躍した戦後日本を代表する洋画家のひとり國領經郎（こくりょう・つねろう 1919年～1999年）の生誕100年を記念し、あらためてその画業を見つめ直す。
- ・砂丘をはじめとする砂のある風景（鳥取砂丘などに取材したものを含む）をさまざまに楽しめる國領作品を紹介したり、砂の風景にまつわる関連事業を開催することで、地元ファン層の期待に応える。

（イ）事業の実施状況

- ・当館所蔵品および県外からの借用作品計118点を、第1～第2特別展示室にて一堂に紹介し、見応えのある展示空間を創出した。大作もゆったりと見やすく展示した。
- ・メディアとしてインパクトのあるNHK鳥取放送局のニュース、NHK日曜美術館のアートシーンに対してアプローチを行った結果、放送として取り上げられた。また、「芸術新潮」や「美術の窓」、「月刊美術」などの全国区の雑誌媒体、さらにウェブ版「美術手帖」でも取り上げられた。とくに日曜美術館の反応は県内外から大きくあり、効果的な情報発信ができた。

会 期	入館者数	目 標
令和2年1月25日（土）～2月25日（日） [29日間（休館日：1月27日、2月3日、17日）]	1,775人	2,800人

※うち有料入館者数：436人（入館者数の24.5%）

<入館者の地域別割合>アンケート回答者

地域	県東部	県中部	県西部	県外	無回答	計
人数	226	26	20	73	2	347
割合[%]	65.1	7.5	5.8	21.1	0.6	100

<関連事業参加者数>

内 容	参加者数
スペシャルギャラリートーク (1/25)	56人
担当学芸員によるギャラリートーク (2/1・2/15)	58人
スペシャルアートシアター「砂の女」 (2/8)	45人
ワークショップ「カメラをもって鳥取砂丘を歩く」 (2/22)	7人

イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・サービス向上とSNS等での自発的広報活動を促すため、各所蔵者と著作権継承者の承諾を得て、来場者による会場内での撮影を全面的に許可した。
- ・来場者増につなげるため、NHK日曜美術館のアートシーンでの紹介を働きかけた。

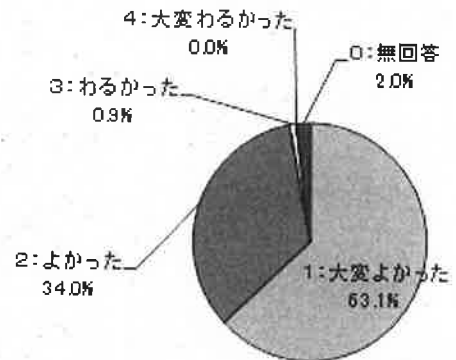
ウ 成果及び効果

- ・入館者からは、「國領の絵を初めて見てガーンと頭を打たれた感じがした」「名前は知っていたが作品は初めて鑑賞した。素晴らしいの一言」等、國領を知らなかった方も鑑賞され、高く評価する反応が見られた。
- ・入館者目標の2,800人に対し、実績は1,775人と達成率は63%であった。

<入館者の満足度等>アンケート回答より

感想 (主なもの)

- ・今まで1~2点の展示は見た事があるが、一堂にこれだけ素晴らしい作品を見せて頂いて感動した。
- ・一人の作家について、テーマを持って展示を見ることは大変有意義だった。半面、照明についてはガラスに自分の影が映ったり、後ろの作品の影が映り込むなど、絵を見るうえで一考してほしい。
- ・会場で写真撮影できたのが良かった。



エ 課題

- ・来場者数に関して目標に達することができなかった。会期中の土日祝日は1日あたり100人前後の来場があったものの、暖冬とはいえ冬季はやはり平日の来場者は少なく、雪が降った日の来場者はかなり少なかった。だが、端的な原因としてはやはり、「鳥取出身作家ではないこと」から来るこの地域での知名度の低さと、作家の知名度がそこまで高くないことに加え没後20年が経過していることが挙げられよう。県外出身作家を扱う場合の戦略を再考する必要がある。

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
博物館普及事業費	11,449		6	11,443
鳥取元気プロジェクト	—			
元気づくり総合戦略	—			

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

- ・県民の生涯学習や学校教育を支援するために、各種の講座や体験学習会、移動博物館などを実施するとともに、博物館の活動、研究成果、利用方法などについて広く情報を発信する。

(イ) 事業の実施状況

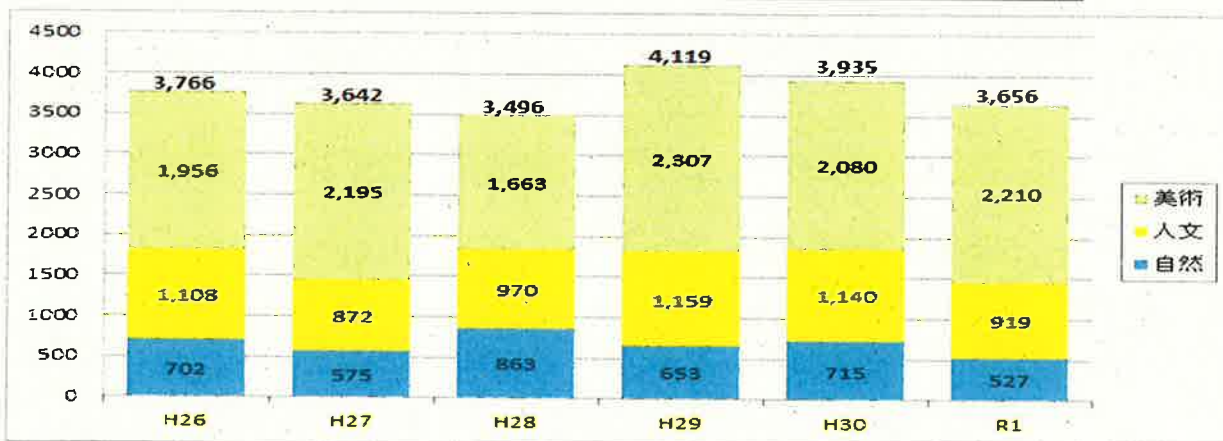
○生涯学習支援

- ・館内外で、各種講演会・ワークショップ・観察会等の普及講座を開催した。

普及講座の実績

(単位：回数＝回、参加者＝人)

年度	自然		人文		美術		計	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
H26	17	702	32	1,108	50	1,956	99	3,766
H27	18	575	30	872	50	2,195	98	3,642
H28	20	863	32	970	53	1,663	105	3,496
H29	21	653	37	1,159	63	2,307	121	4,119
H30	20	715	36	1,140	61	2,080	117	3,935
R1	17	527	33	919	54	2,210	104	3,656



- ・館蔵資料や作品を県内各地で見学・鑑賞に供するため、移動博物館・移動美術館を開催した。

移動博物館・移動美術館/出前展示の実績

(単位：回数＝回、入場者＝人)

年度	自然		人文		美術		計	
	回数	入場者	回数	入場者	回数	入場者	回数	入場者
H26	4	3,526	7	2,312	1	246	12	6,084
H27	6	2,611	4	1,003	2	851	12	4,465
H28	5	643	5	3,778	2	569	12	4,990
H29※	2	943	自然・人文共同開催 (左記に含む)		2	2,231	4	3,174
H30	4	674	3	275	2	645	9	1,594
R1※	4	455	5	1,653	2	1,927	11	4,035

※移動博物館を希望する学校や公民館等の応募開催から、H29年度より当館が選定する会場での開催に変更。展示を希望する学校への対応は「出前展示」と名称を変更して継続。

※自然・人文共同開催の回は自然の欄に含む。

### ○学校教育支援

- ・博物館の持つ専門知識や博物館資料等の学習資源を、学校教育活動やその対象となる学校教職員に提供するため、「教員のための博物館の日」を開催した。
- ・「教員のための博物館の日」の第1回の開催はH26年度で59名の参加者は体験型で参加していた。H27年から県教育センターの研修講座として出張型での参加が可能となり、H27年には90名と参加者が急増、その後H28年61名、H29年64名、H30年37名（鳥取市教育センターとの研修が重なったため減少）と推移している。令和元年度は55名の参加があった。
- ・アウトリーチ事業として、各学校等に出前展示、学芸員派遣などの照会を行い、博物館資料を活用した講座を実施した。

### ○情報発信

- ・生涯学習支援、学校教育支援、博物館の収蔵品に関する情報をとりネット(博物館ホームページ)で情報発信した。
- ・H28年度からFacebookでの情報発信にも努めており、フォロワーは991人(H2年3月末現在)。更新頻度も増えており、「いいね!」を押すことによる口コミ効果が広がっている。
- ・研究報告、普及誌(博物館ニュース)等の印刷物を発行した。

### イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・庁内LANノーツDBを活用して、普及講座の開催結果の復命を登録しDBを使うことによって効率化することを図り、担当者に周知して速やかな復命や参加者数の集計ができるようになった。
- ・「川原の石をしらべよう!」(自然)・「古戦場・山城・荘園をあぐる」(人文)など、地域素材を活かしたプログラムを実施した。
- ・夏休み美術企画展「アートとの遭遇」会場では、「まいごち!ワークショップまつり」と題して、ワークショップ実施者に会場を提供して日替わりのワークショップイベントを開催した。
- ・県民協力団体と連携した講座を開催した。
- ・学校からの展示希望について、「出前展示」として実施した。
- ・教員のための博物館の日では、新学習指導要領の柱である「対話で深める学びの世界」をコンセプトに、朝鑑賞を実践する所沢市三ヶ島中学校長沼田先生らの講演と企画展の展示案内、学芸員とのフリートークを中心に構成とした。
- ・ホームページ、SNSを積極的に活用した広報を展開した。

### ウ 成果及び効果

- ・3月は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため普及講座をやめなく中止した。開催できていれば参加者はもう少し伸びたものと思われる。
- ・人文担当で5年に1度実施している定点写真の移動展示では多くの来場者があった。

タイトル	会場	期日	来場者数
特別企画展「変わりゆく郷土 写真で見るとっとり1968-2018」	倉吉博物館	7月3日~7月21日	346人
	八頭町中央公民館	8月1日~8月14日	54人
	ヴェルステひえづ	8月28日~9月11日	734人
	大山町立名和公民館	12月6日~12月19日	54人
	岩美町中央公民館	1月7日~1月16日	465人

- ・SNSに積極的に記事を投稿することによって、博物館のファン層(フォロワー)が増加している(3月末の段階でFacebookのフォロワーは991人となった)。

### エ 課題

- ・SNSによる情報発信に多くの館職員が関わっていく仕組み作りが必要である。また、SNSの記事の頻度・内容等を、反響の大きかった記事の傾向をもとに改善し、より多くの方の目にふれるような記事づくりをする。
- ・速やかな情報発信をするために、反響の大きい記事を参考にして「ひな形」を作り、各担当が各自で情報発信できる仕組みを作る。
- ・普及講座のなかで一般参加者の充足を損なわず就学前の子どもをどのように取り込めか、または、講座の編成を作るのか、ニーズの低年齢化と併せて必要である。
- ・「教員のための博物館の日」は県教育センターと連携した研修として実施しているが、令和元年度は働き方改革などからキャリ

研修の時間が短くなった。教員のニーズと合わせながら、社会教育施設としての博物館の役割を充てていく必要がある。そのため、来館したときのプログラム、ICTを利用したプログラムなどを検討・用意する必要がある。

- ・現在の博物館利用の現状から、障がいのある方向けの講座などユニバーサルな普及プログラムや、自然と人文、自然と美術など異分野の共同実施など新たなプログラムの開発が必要である。



(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
鳥取県立美術館整備推進事業	37,714	3,083		34,631
鳥取元気プロジェクト	—			
元気づくり総合戦略	—			

(概要)

## ア 目的及び事業の実施状況

## (ア) 目的

- ・鳥取県立美術館の整備運営にPFI手法（BTO方式）を導入するため、要求水準書、落札者決定基準等の作成、PFI事業者選定審査会の開催等、PFI事業者選定・契約締結等を着実に進める。
- ・また、「未来を『つくる』美術館」をコンセプトに掲げた県立美術館の開館に向けて、美術館活動の効果を先行して波及させるとともに、県民と連携した美術館づくりを行っていく。

## (イ) 事業の実施状況

## OPFI事業者の選定

前年度に引き続き要求水準書等の作成、審査会での審査等について、法務、金融、建築技術等の専門的な知見・能力を有する専門コンサルタントの支援を受けながら業務を実施し、落札者を決定した。

## 【今年度の内容】

- ・要求水準書、事業者募集書類等の作成
- ・特定事業の選定・公表及び入札公告
- ・入札参加者との重点対話の実施
- ・県民参加型公開プレゼンテーション、事業者ヒアリングによる審査
- ・落札者の決定

## 【事業契約の相手方】

- ・鳥取県立美術館パートナーズ株式会社

(代表企業：大和リース株式会社、設計企業：株式会社竹中工務店、株式会社榎総合計画事務所、構成企業に複数の県内企業も参画)

## ※PFI事業者選定審査会の開催

審査にあたっては、入札参加者との重点対話を行うとともに、審査会に対するプレゼンテーションを県民が傍聴できる形（県民参加型公開プレゼンテーション）で実施し事業者選定の過程においても県民参画を実現させた。

## 【鳥取県教育委員会公募型プロポーザル方式受注者選定等審査会（美術館整備運営事業）9名】

氏名	役職等
林田 英樹	日本工芸会理事長、元文化庁長官、元国立科学博物館長、元国立新美術館長
衣笠 幸雄	TBS テレビ社長室顧問、前・TBS サービス社長
山梨 俊夫	国立国際美術館館長、前・神奈川県立近代美術館館長
佐治 ゆかり	郡山市立美術館館長、美術館連絡協議会理事
光多 長温	公益財団法人都市化研究公室理事長、元・鳥取大学地域学部教授
堀越 英嗣	芝浦工業大学建築学部長、堀越英嗣 ARCHITECT 5 代表、元・鳥取環境大学教授
遠藤 由美子	公立鳥取環境大学副学長・環境学部教授（建築）
根鈴 智津子	倉吉市教育委員会事務局文化財課長
池上 祥子	鳥取県地域振興部文化振興監兼文化政策課長

## 【開催状況（前年度2回開催）】

- ・第3回 令和元年6月6日 質問回答結果報告、落札者決定基準の策定
- ・第4回 令和元年12月17日 審査書類確認、重点対話報告、質疑内容整理
- ・第5回 令和2年1月9日 県民参加型公開プレゼンテーション、事業者ヒアリング
- ・第6回 令和2年1月10日 最優秀提案の選定
- ・第7回 令和2年2月4日 審査講評（書面評決）

## ○建設場所調査業務の実施

入札公告で提示する基礎資料とするため、美術館建設予定地の地質調査及び高低測量調査等を行った。

## ○県民がつくる美術館事業の実施

### ①美術ラーニングセンター(仮称)機能の検討

全国に誇れる美術館の特徴として、「美術を通じた学び」を支援する「美術ラーニングセンター」機能を有効なものとするため、子どもたちが美術作品やアーティストと出会う機会を増やす方法や、美術館と学校との連携方策、館内外での教育普及事業について、学校関係者を中心に「美術ラーニングセンター(仮称)検討委員会」を設け実践的な調査研究を進めた。

- ・デジタル鑑賞教材(みどころルーペ)の開発、学校授業や館内での対話型鑑賞の実施
- ・小学校等の博物館美術展へのバス招待(14団体817名)
- ・夏休み子ども向け企画「アートとの遭遇」展の開催
- ・小学校の新規採用教員研修(県教育センター主催)での専門講座の開催
- ・検討委員会による先進事例調査(美術館支援ボランティアの運営・養成等)等

### ②「私たちの県民立美術館」普及啓発

美術の新しいファンをつくとともに美術館を支えてくださる県民を増やすため、機運醸成を図る普及啓発等を行った。

- ・アートの種まきプロジェクト(美術館づくりワークショップ)  
令和元年9月7日「フリーペーパーづくりのためのコラージュ川柳」ほか計4回(参加者約70名)
- ・ミュージアムサロン(文化関係者等とのディスカッション)  
令和元年7月20日(会場:智頭宿 楽之)ほか2回(計63名)
- ・コレクション宅配便(学校や商業施設等での県立博物館所蔵作品の展示・解説等)  
令和元年6月12日境港第三中学校、12月10日鳥取看護大学・短期大学ほか6回(計476名)
- ・美術館を支える地域団体等とのネットワーク形成のための補助金の創設、交付  
3団体(美術館支援ボランティアの活動視察、検討、美術館開館の期待を高めるWeb発信等)

## イ 平成31年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

美術館の整備基本計画の実現に向けて、入札参加者の理解を促すことを目的として提案前の官民対話を重点的に実施するとともに、県民参加型公開プレゼンテーションを実施するなど「県民がつくる美術館」の展開を実現させた。

## ウ 成果及び効果

○中部地域の官民59団体で組織される「県立美術館と共に歩む中部地区の集い協議会」等、県民の主体的な参画・協力を得て美術館づくりを進める意識が醸成されつつある。

### 【県立美術館と共に歩む中部地区の集い協議会】

- ・地域の一体感を醸成するキャッチフレーズ、ロゴマークの公募、決定
- ・応援団部会、盛上げ部会による県立博物館見学会(美術館機能を知る、学芸員等との意見交換)、研修会(先進美術館視察、講演会開催)ほか

### ○民間団体への出前説明会等

- ・倉吉商工会議所女性会ほか 計8回

### ○ワークショップづくり隊との協同

県民9名(大人7名・大学生1名・中学生1名)による教育普及チームが、博物館の職員と一緒に、企画段階から数回の打合せ、事前の準備や試行を経て、ワークショップを開催した。

- ・ワークショップ2回、「まいにち!ワークショップまつり(夏休み)」の講師6回、運営サポート

## エ 課題

- ・県立美術館を整備・運営に向けて、地元市町村・関係団体等との積極的な連携・協力を図っていくとともに、県民への周知を十分に行っていくことが必要である。

<令和元年度研究成果>

【自然担当】

鳥取県立博物館研究報告 57 号に、次の研究を出版・発表した。

- 鳥取県立博物館に寄贈された井堂雅澄日本産チョウ類コレクション目録 2016 年に当館に寄贈されたチョウ類コレクションの整理が終了し、目録を発表した。4 科 34 種 608 個体で構成され、鳥取県内の採集は 12 種 230 個体で、特に大山から採集されたウスイロヒョウモンモドキは、現在は絶滅しており、大山のチョウ類の変遷を知るうえで重要な資料である。
- 外来種マツヘリカメムシ *Leptoglossus occidentalis* の鳥取県からの初記録と分布の拡大状況に関する考察  
外来種であるマツヘリカメムシを 2019 年 10～12 月に鳥取県から初めて採集した記録報告。
- 鳥取県から得られたホヤ類  
鳥取県東部沿岸海域におけるホヤ相を解析した。その結果 9 科 21 属 52 種が認められ、そのうち少なくとも 4 種が日本海新記録であった。採集されたホヤ類に暖水系種が少なくとも 11 種含まれていたが、冷水系種は皆無であった。

【人文担当】

- 古文書解読ボランティアの協力により、「町奉行日記」・「御目付日記」等の館蔵資料の解読を進めた。
- 館蔵の刀剣を調査・研究し、その成果として美術常設展示室でテーマ展示「刀剣爛漫～県博の赤羽刀と新収蔵刀～」を開催した。
- 鳥取県史ブックレット 20「因府歴年大雑集を読む」において、来見田主任学芸員が分担執筆した。
- 日本列島における鷹・鷹場と環境に関する総合的研究(科学研究補助金基礎研究(A))の研究紀要において、館蔵資料を用いた鷹場の研究を報告した。
- 鳥取県内の黄檗寺院調査を行い、企画展「殿様の愛した禅 黄檗文化とその名宝」でその成果を展示し、図録にまとめた。

【美術担当】

- 現在改修工事のために長期の休館に入っている滋賀県立近代美術館のコレクションを中心に関西、四国の美術館から戦後アメリカ美術の優品を借用して現代美術の展覧会「ニューヨーク・アートシーン」を開催した。県内では初公開の作家や作品も多く、6,000 人を超える入場者が訪れ好評であった。この展覧会は本館の企画で全国四会場を巡回し、図録も刊行した。
- 生誕 120 年を迎える琴浦町出身の写真家・塩谷定好の旧宅(記念館)に遺る作品や関係資料を中心に詳細に調査・研究し、その成果として「生誕 120 年 塩谷定好とその時代展」を開催した。書店販売するかたちでの図録も刊行し、研究成果を長くおおよげにできる体制も整えた。
- 生誕 100 年を迎える國領経郎の関係資料等の調査を、遺族らの協力を得て、酒田市美術館、茅ヶ崎市美術館と共同で行い、その成果として「生誕 100 年 國領経郎展」を開催した。その成果を反映させた図録も刊行した。

- 6 決算資料  
別途提出
- 7 事業別実施状況調べ  
別途提出
- 8 予備費の充用調べ  
該当なし
- 9 繰越関係調べ  
該当なし

10 収入証紙取扱額調べ  
有 無

(単位：円)

収入科目(節)	収入済額(円)	件数(件)	備考
教育使用料、博物館使用料	6,014,178	296	博物館入館料
物品売払収入	1,551,460	109	刊行物(図録)売払収入
雑入	28,570	51	公衆電話使用料、コピー代、余剰金
合計	7,594,208	456	

イ つり銭の状況 (平成2年3月31日現在)

つり銭の有無	有	つり銭の額(円)	250,000
--------	---	----------	---------

12 財産に関する調べ  
(1) 公有財産  
ア 土地

(令和2年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況			差引		備考	
			面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減別	異動日	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	面積(m <sup>2</sup> )		価額(円)
行政財産	鳥取県立博物館 博物館湖山倉庫	鳥取市東町二丁目 124番地	14,227.96	不明	増加	H			14,227.96	不明	
					減少	H					
			3,260.40	不明	増加	H			3,260.40	不明	
					減少	H					
計			17,488.36	0				17,488.36	0		

(令和2年3月31日現在)

イ 建物

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況			差引		備考	
			面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減別	異動日	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	面積(m <sup>2</sup> )		価額(円)
行政財産	鳥取県立博物館 博物館湖山倉庫	鳥取市東町二丁目 124番地	9,699.18	726,927,000	増加	H			9,699.18	726,927,000	
					減少	H					
			488.80	15,739,470	増加	H			488.80	15,739,470	
					減少	H					
計			10,187.98	742,666,470				10,187.98	742,666,470		

ウ 山林 該当なし  
 エ 不動産売却等 該当なし  
 オ 財産の交換 該当なし  
 カ 動産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機） 該当なし  
 キ 物権 該当なし  
 ク 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等） 該当なし  
 ケ 有価証券 該当なし  
 コ 出資による権利 該当なし

(2) 金券類の保有状況  
 ア 金券の保有状況  
 有 ・ 無

イ タクシーチケットの保有状況 (令和2年3月31日現在)

前年度未使用枚数	本年度		本年度未使用枚数
	購入枚数	使用枚数及び金額	
51 (JCB : 40枚) (ハイヤ-組合 : 11枚)	90 (JCB : 0枚) (ハイヤ-組合 : 90枚)	45 (JCB : 5枚) (ハイヤ-組合 : 40枚)	96 (JCB : 35枚) (ハイヤ-組合 : 61枚)
		356,410 円	

(3) 基金 (令和2年3月31日現在)

種別	前年度末	本年度中		本年度末	備考
		増	減		
鳥取県美術品取得基金	500,000,000	15,496,000	15,496,000	500,000,000	美術品 4点
合計	500,000,000	15,496,000	15,496,000	500,000,000	

(4) 債権 該当なし

13 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地 該当なし

イ 建物

行政・普通 財産の区分	貸付 (使用許可) 目的	所在地	数量又は 面積	貸付 (使用許可) 年月日	当初貸付 (使用許可) 年月日	貸付 (使用許可) 期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の 貸付(使用)料	住氏 所名	住所名	
行政財産	来館者のための カフェ事業	鳥取市東町二丁目 124番地	35.24㎡	H29.4.1	H23.6.28	H31.4.1 ～ R2.3.31	月額・年額 0	0	鳥取市東町二丁目260 株式会社 グラン・クリュエ工房	文書ID: 18- 00357528	
	鳥取県立博物館 振興会事業	鳥取市東町二丁目 124番地	19.66㎡	H30.4.1	H19.3.30	H30.4.1 ～ R5.3.31	月額・年額 0	0	鳥取市東町二丁目124番地 鳥取県立博物館振興会	文書ID: 17- 00308746	
計								0			

(2) 物品 (1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの)

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		本年度の 貸付料	住氏 所名	使用場所	貸付目的	備考
				単価	貸付先					
沖一峨「花こう方円図」	1	絹本・著色	H31.3.1 ～ R1.5.12	0	岡山市北区天神町8-48 岡山県立美術館長 守安 収	0	岡山市東町1-220 鳥取県地域づくり推進部文化財局 文化財課長 中原 斉	岡山県立美術館	「江戸の奇跡・明治の輝き一日 本絵画の200年」展に出品のため	
土方稻嶺「旧興国寺 書院襖絵」	12	紙本・墨画	R1.8.31 ～ R1.9.29	0	鳥取市東町1-220 鳥取県地域づくり推進部文化財局 文化財課長 中原 斉	0	鳥取市東町1-220 鳥取県地域づくり推進部文化財局 文化財課長 中原 斉	鳥取市歴史博物館	「とっとりのお宝おひろめ(披露 目)～鳥取県指定文化財新規 指定記念展」展に出品のため	
土方稻嶺「旧興国寺 書院襖絵」	8	紙本・墨画	R1.10.5 ～ R1.10.20	0	鳥取市東町1-220 鳥取県地域づくり推進部文化財局 文化財課長 中原 斉	0	鳥取市東町1-220 鳥取県地域づくり推進部文化財局 文化財課長 中原 斉	倉吉博物館	「とっとりのお宝おひろめ(披露 目)～鳥取県指定文化財新規 指定記念展」展に出品のため	
國領經郎「悠々」他	16	油彩・カン ヴァス他	R2.3.1 ～ R2.4.12	0	山形県酒田市飯森山3-17-95 酒田市美術館長 石川 好	0	山形県酒田市飯森山3-17-95 酒田市美術館長 石川 好	酒田市美術館	「生誕100年 國領經郎展」酒田展 に出品のため	
合計						0				

14 借受不動産明細調べ  
該当なし

15 職員駐車場の管理状況調べ

(1) 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	鳥取市東町二丁目124	12.5	6,125

(2) 減免の考え方

根拠規程： 公有財産事務取扱要領第5章第1節第11の4の表の3 身体的理由等により自家用車での通勤がやむをえない場合  
減免率： 1/2

(3) 使用料の見直し

令和元年10月1日



## 16 寄附物件の受納状況調べ

(令和2年3月31日現在)

品名	規格・ 銘柄等	数量	見積金額	寄附申込 年月日	寄附 申込者 氏名	受納 年月日	受納 手続 の有無	備考
アツギノヌカイタチ シダマガイ	標本	2	円 100	R1.5.3	個人	R1.5.11	有	自然資料
陸産・淡水産貝類標 本	標本	約 8,800	176,000	R1.5.24	個人	R1.5.29	有	自然資料
鉱物標本・岩石標本	標本	23	59,640	R1.8.2	個人	R1.8.6	有	自然資料
昆虫(チョウ)調査の 原資料	写真フィ ルム・ ノート類	一式	20,000	R1.9.20	個人	R1.9.24	有	自然資料
自然資料(化石・動 物)及び民俗資料	標本	一式	10,000	R1.10.24	三朝町 教育 委員会	R1.10.25	有	自然資料 民俗資料
コミミズク本剥製標 本	本剥製	1	10,000	R1.10.27	個人	R1.11.11	有	自然資料
変形菌標本	標本	3	300	R1.11.14	個人	R1.11.16	有	自然資料
菌類標本(コフキサ ルノコシカケ)	標本	1	500	R2.1.5	個人	R2.1.6	有	自然資料
鳥類標本	冷凍標本	12	1,200	R2.3.22	個人	R2.3.31	有	自然資料
坂本コレクション		348	7,242,010	R1.10.1	個人	R1.10.22	有	歴史資料
戦前のポスター		3	9,000	R1.6.13	個人	R2.3.11	有	民俗資料
木挽鋸		4	8,000	R1.6.13	個人	R2.3.11	有	民俗資料
消防団帽子ほか		5	9,000	R1.6.25	個人	R2.3.11	有	民俗資料
中国地方の民話・わ らべ歌オープンリー ルテープ		286	28,600	R1.6.26	個人	R2.3.11	有	民俗資料
どろ天神(土人形)		5	10,000	R1.7.23	西 粟倉村	R2.3.11	有	民俗資料
庚申掛絵		1	500	R2.2.25	個人	R2.3.11	有	民俗資料
庚申掛絵		1	8,000	R2.2.25	個人	R2.3.11	有	民俗資料
旧鳥取藩鑄師早田家 資料		294	995,100	R2.2.28	個人	R2.3.31	有	歴史資料
乾家(武山系)資料		10	770,000	R2.3.10	個人	R2.3.31	有	歴史資料
湯梨浜町馬ノ山4号 墳、同宮内狐塚古墳 採集円筒埴輪		14	14,000	R2.3.26	鳥取縣 公文書 館	R2.3.26	有	考古資料
土方(杉浦)家伝来資 料	紙本著色 粉本他	約 149	300,000	R1.10.24	個人	R1.11.16	有	美術資料
土方(杉浦)家伝来 資料(関羽図下絵)	紙本著色	1	10,000	R2.2.13	個人	R2.3.31	有	美術資料
合 計		約 9,963	9,681,950					

17 備品の処分状況調べ

品名 (規格・銘柄)	数量	(保管換年月日) 取得年月日	不用決定 年月日	不用とする理由	処 分			備考
					売払棄却 の別	売払方法・棄却理由	処分年月日	
NAS	1	R1.8.8	R1.8.29	使用不可(二重登録)	棄却	二重登録によるもの	R1.8.29	
外付けハードディスク	1	R1.8.8	R1.8.29	使用不可(二重登録)	棄却	二重登録によるもの	R1.8.29	
公印	1	H22.12.7	R1.10.18	使用不可(欠損)	棄却	欠損のため	R1.10.18	
冷凍庫	1	S53.5.6	R1.11.14	使用不可(老朽化)	棄却	老朽化のため使用不可	R1.11.14	
館長印	1	R1.9.17	R2.2.15	使用不可(二重登録)	棄却	二重登録によるもの	R2.2.15	
合 計	5							0

22 18 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ  
 (1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

有 ・ 無

(2) 物品の照合  
 有 ・ 無

19 貸付金等状況調べ  
 該当なし

20 博物館運営

(1) 管理運営

ア 博物館協議会

鳥取県立博物館協議会(昭和33年条例第16号設置)は、委員13人で構成し、運営、自然、美術、人文の専門部会を組織して運営している。

会議の開催状況

全体会 令和元年6月18日、11月19日 ※令和2年3月25日は中止(コロナ対応)

イ 入館料、使用料

入館料

(平成29年4月1日改訂)

区 分		金額			特別展示
		通常展示			
		同日中に特別展示に入館しない場合	同日中に博物館主催の特別展示に入館する場合	同日中に博物館主催以外の特別展示に入館する場合	
個人 1人1回につき	大学生以下	無 料	無 料	無 料	展示に要する経費を勘案して、教育委員会が別に定める額
	学校教育活動での引率者	無 料	無 料	無 料	
	70歳以上	無 料	無 料	無 料	
	障がいのある方 ・難病患者の方 ・要介護者等及びその介護者	無 料	無 料	無 料	
	一 般 人	180円	無 料	90円	
団 体 (20名以上) 1人1回につき	大学生以下	無 料	無 料	無 料	
	学校教育活動での引率者	無 料	無 料	無 料	
	70歳以上	無 料	無 料	無 料	
	障がいのある方 ・難病患者の方 ・要介護者等及びその介護者	無 料	無 料	無 料	
	一 般 人	150円	無 料	70円	

展示室等使用料

(平成27年4月1日改訂)

区 分	金 額	
第1展示室	1日につき 13,300円	半日につき 6,650円
第2展示室	" 13,300円	" 6,650円
第3展示室	" 10,380円	" 5,190円
講 堂	" 5,320円	" 2,660円
会 議 室	1時間につき 270円	

備 考

- この表中「1日」とは午前9時から午後5時までをいい、「半日」とは午前9時から午後1時まで又は午後1時から午後5時までをいう。
- 午後5時を越えて展示室又は講堂を利用するときは、この表に定める使用料の額に1時間につき次の表の左欄に掲げる区分に応じてそれぞれ同表の右欄に掲げる額の使用料を加算する。この場合において、利用時間が1時間未満であるとき又は利用時間に1時間未満の端数があるときは1時間として計算するものとする。

区 分	金 額
第 1 展 示 室	1時間につき 1, 6 6 0円
第 2 展 示 室	" 1, 6 6 0円
第 3 展 示 室	" 1, 3 0 0円
講 堂	" 6 6 0円

3 暖房又は冷房をしたときは、この表に定める使用料の額に当該額の2割に相当する額を加算する。

展示室等利用料金の減免事由

該当項目	減免対象	減免率
芸術文化団体が芸術又は文化の振興のために行う公演、展示、講演、講習等のための催し(実費を超える額の入場料又はこれに類するものを徴収しないものに限る。)のために利用するとき	展示室 講 堂 会議室	1/2
社会教育団体が社会教育活動として行う講習会、講演会、展示会その他の集会等(実費を超える額の入場料又はこれに類するものを徴収しないものに限る。)のために利用するとき	展示室 講 堂 会議室	1/2
障がいのある方、難病患者の方及びその介護者が社会参加の目的のために利用するとき	展示室 講 堂 会議室	1/2 又は 10/10
70歳以上の高齢者が社会参加の目的のために利用するとき	展示室 講 堂 会議室	1/2 又は 10/10
要介護者等及びその介護者が社会参加の目的のために利用するとき	展示室 講 堂 会議室	1/2 又は 10/10
全県の児童、生徒を対象に募集した作品の展示会(博物館の業務に関連のある展示会、講演会又は講習会で、入場料等を徴収しない場合)	展示室 講 堂	10/10
郡市単位以上の児童、生徒を対象に募集した作品の展示会(博物館の業務に関連のある展示会、講演会又は講習会で、入場料等を徴収しない場合)	展示室 講 堂	1/2
教育研究団体が教育内容の向上を目的として行う教職員を対象とした講演会又は講習会等(博物館の業務に関連のある展示会、講演会又は講習会で、入場料等を徴収しない場合)	展示室 講 堂	10/10
個人又は団体等が一般人を対象に開催する展示会、講演会又は講習会等(博物館の業務に関連のある展示会、講演会又は講習会で、入場料等を徴収しない場合)	展示室 講 堂	1/2
博物館の業務に関連のある展示会で、入場料(これに類するものを含む。)が県立博物館の入館料最高額をこえないもので、博物館長が特に減免の必要があると認め、教育長がこれを承認した場合	展示室	展示期間の 前後各1日 10/10
その他博物館長が特に減免の必要があると認め、教育長がこれを承認した場合の展示会、講演会又は講習会等	展示室 講 堂 会議室	1/2 又は 10/10
学校等が、生徒等が行う公演、生徒等の作品の展示等の文化芸術に関する行事(学年(これに相当するものとして知事が別に定めるものを含む。)単位以上の規模で行うこと、実費を超える額の入場料又はこれに類するものを徴収しないことその他知事が別に定める要件に該当するものに限る。)のために利用するとき	展示室 講 堂 会議室 冷暖房料	10/10
幼児・児童又は生徒が参加するもので、対象団体等が主催する文化芸術行事又はスポーツ行事(学年単位以上、学校の文化部長が行う発表会等、対象団体が行う大会等) 【対象団体】(県内のものに限る) 幼稚園、保育所、小・中・高等学校、盲・聾・養護学校、高等専門学校、専修学校、指定技能教育施設、教育関係団体	展示室 講 堂 会議室 冷暖房料	10/10

展示室等利用料金の無料事由

該当項目	無料対象
とっとり県民の日(9月12日)には、展示室等使用料(とっとり県民の日の趣旨にふさわしい行事を行う場合に限る。)についてはこれを徴収しない。9月の第2土曜日及びその翌日における当該使用料についても、同様とする。	展示室 講堂 会議室 冷暖房料

ウ 開館時間、休館日

開館時間 午前9時から午後5時まで

(教育委員会があらかじめ指定する日にあつては、午前9時から午後7時まで)

- 休館日
- ・月曜日(その日が国民の祝日に関する法律に規定する休日(以下「休日」という。)である場合は、その翌日(その日が休日でない場合に限る。))
  - ・休日の翌日(その日が日曜日、土曜日又は休日でない場合に限る。)
  - ・12月29日から翌年の1月3日までの日

## (2) 利用状況

## ア 展示室等利用状況 (日数)

(単位:日)

区分	常設 展示室	第1 展示室	第2 展示室	第3 展示室	講堂	会議室	合 計
主 催	329	287	287	222	24	46	1,195
その他	0	73	73	75	30	16	267
計	329	360	360	297	54	62	1,462

## イ 博物館利用者数

(単位:人)

区分	常設展	企画展等	講堂	会議室	研究相談	普及活動 (講堂、会議 室を除く)	カフェ 利用者	合 計
主 催	31,237	23,273	1,077	1,850	351	7,280	0	65,068
その他	0	12,811	2,339	268	0	0	14,312	29,730
計	31,237	36,084	3,416	2,118	351	7,280	14,312	94,798

ウ 常設展月別入館者数

(単位：人)

月別	開館日数	幼児			小中学生			高校生			学生			一般			合計			1日当りの入館者数	
		個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計		
4月	28	166	0	166	286	0	286	53	0	53	67	0	67	( 1,089)	( 29)	( 1,118)	( 1,089)	( 29)	( 1,118)	( 1,118)	81
5月	28	161	17	178	265	52	317	69	0	69	69	0	69	( 2,638)	( 4)	( 2,642)	( 2,638)	( 4)	( 2,642)	( 2,642)	140
6月	27	84	0	84	73	56	129	18	40	58	72	27	99	( 733)	( 73)	( 806)	( 733)	( 73)	( 806)	( 806)	77
7月	29	235	51	286	500	186	686	18	0	18	43	0	43	( 1,096)	( 0)	( 1,096)	( 1,096)	( 0)	( 1,096)	( 1,096)	92
8月	30	473	26	499	1,158	18	1,176	84	9	93	150	0	150	( 2,799)	( 2)	( 2,801)	( 2,799)	( 2)	( 2,801)	( 2,801)	179
9月	25	120	0	120	126	80	206	12	7	19	33	0	33	( 320)	( 2)	( 322)	( 320)	( 2)	( 322)	( 322)	65
10月	30	88	143	231	518	293	811	13	0	13	29	18	47	( 2,102)	( 0)	( 2,102)	( 2,102)	( 0)	( 2,102)	( 2,102)	122
11月	28	95	59	154	235	398	633	45	0	45	41	0	41	( 1,570)	( 17)	( 1,587)	( 1,570)	( 17)	( 1,587)	( 1,587)	104
12月	26	57	0	57	112	378	490	10	0	10	72	0	72	( 527)	( 24)	( 551)	( 527)	( 24)	( 551)	( 551)	58
1月	25	99	0	99	95	34	129	8	0	8	11	0	11	( 185)	( 2)	( 187)	( 185)	( 2)	( 187)	( 187)	35
2月	27	124	34	158	104	100	204	20	0	20	58	0	58	( 1,128)	( 3)	( 1,131)	( 1,128)	( 3)	( 1,131)	( 1,131)	81
3月	26	120	0	120	174	0	174	69	0	69	100	0	100	( 435)	( 3)	( 438)	( 435)	( 3)	( 438)	( 438)	78
合計	329	1,822	330	2,152	3,646	1,595	5,241	419	56	475	745	45	790	( 14,622)	( 159)	( 14,781)	( 14,622)	( 159)	( 14,781)	( 14,781)	94
補足説明		( ) は入館料減免者で内数である。																			

## (3) 事業内容

## ア 常設展示

(単位：点)

区 分	実物資料・標本	ジオラマ・模型・機器	計
自 然	2,210	15	2,225
歴史・民俗	820	88	908
美 術	349	0	349
合 計	3,379	103	3,482

## (ア) 自然展示室 (1階 515㎡)

鳥取県の自然史、すなわち地質、地形、化石、動物、植物についての歴史と現在の姿を理解できるように、また環境問題や自然との共生を考えるために、実物標本・レプリカ・パネル等を用いてわかりやすく展示解説した。

## (イ) 歴史・民俗展示室 (1階 515㎡)

本県の縄文時代から近世までの生活様式の移り変わりと、因幡・伯耆の歴史や文化の特色が理解できるよう、資料や模型・模写等を用いながら展示解説するとともに、祖先から伝承された生活用品、日用品、芸術娯楽及び年中行事や県内各地の有形・無形の民俗資料を展示解説した。

## (ウ) 美術常設展示室 (1階260㎡)

事 業 名	会 期	内 容
コレクション展Ⅰ 美術家大辞典 鳥取県立博物館版 近世以前 編：あ行の作家 (上)	4月17日(水)～ 6月2日(日)	当館所蔵品から、近世以前の「あ行」の名前の全作家の作品を2期に分けて紹介した。
コレクション展Ⅱ 美術家大辞典 鳥取県立博物館版 近世以前 編：あ行の作家 (下)	6月5日(水)～ 7月21日(日)	
コレクション展Ⅲ 美術家大辞典 鳥取県立博物館版 近世以前 編：か行の作家 (上)	7月24日(水)～ 9月8日(日)	当館所蔵品から、近世以前の「か行」の名前の全作家の作品を2期に分けて紹介した。
コレクション展Ⅳ 美術家大辞典 鳥取県立博物館版 近世以前 編：か行の作家 (下)	9月11日(水)～ 10月27日(日)	
コレクション展Ⅴ 美術家大辞典 鳥取県立博物館版 近世以前 編：さ行の作家 (上)	10月30日(水)～ 12月8日(日)	当館所蔵品から、近世以前の「さ行」の名前の全作家の作品を2期に分けて紹介した。
コレクション展Ⅵ 美術家大辞典 鳥取県立博物館版 近世以前 編：さ行の作家 (下)	12月11日(水)～ 1月26日(日)	
コレクション展Ⅶ 美術家大辞典 鳥取県立博物館版 近世以前 編：た行の作家	1月29日(水)～ 3月15日(日)	当館所蔵品から、近世以前の「た行」の名前の全作家の作品を紹介した。
コレクション展Ⅷ 美術家大辞典 鳥取県立博物館版 近世以前 編：な行の作家	3月18日(水)～ 4月	当館所蔵品から、近世以前の「な行」の名前の全作家の作品を紹介した。



(エ) 近代美術展示室 (2階374㎡)

事業名	会期	内容
コレクション展 美術家大辞典 鳥取県立博物館 版 近現代編：あ行・か行の作家	4月27日(土)～ 6月16日(日)	当館所蔵品から、近現代の「あ行・か行」の名前の全作家の作品を紹介した。
夏休み企画 シリーズ：美術をめぐる場をつくるⅠ アートとの遭遇	7月20日(土)～ 8月25日(日)	表現や鑑賞を体験的に味わい、アートをより身近に感じることを目的に、「アートとの遭遇」と題した展示を開催。当館所蔵品の他、会場で滞在制作を行う美術大学生の作品なども展示。県民が自発的に講師を務めるワークショップコーナーを設けるなどして、アートを通じたコミュニケーションが生まれる場も提供した。
コレクション展 美術家大辞典 鳥取県立博物館 版 近現代編：さ行・た行の作家	10月5日(土)～ 12月8日(日)	当館所蔵品から、近現代の「さ行・た行」の名前の全作家の作品を紹介した。

イ 特別展示

(令和2年3月31日現在)

展覧会名	期間	内容	入館者数 (人)	備考
「倉吉絣」 in ロシア・ウラジオストク出展作品 帰国お披露目展	H31. 3. 30 ～ H31. 4. 7	鳥取県文化デイズの一環として、平成30年10月から1ヵ月間、ロシア・ウラジオストクにあるロシア沿海地方国立美術館で「倉吉絣」の展覧会を開催した際の作品をお披露目した。	372	個人 ※入館者 数は4/1 ～4/7分
企画展「ニューヨーク・アートシーンーロスコ、ウォーホルから草間彌生、バスキアまで 滋賀県立近代美術館コレクションを中心に」	H31. 4. 13 ～ R1. 5. 19	戦後アメリカ美術に関する国内屈指のコレクションで知られ、現在長期の改修工事中の滋賀県立近代美術館のコレクションを中心に、第二次大戦後、現代美術の首都となったニューヨークの現代美術を、大作を中心に100点余の作品によって一挙に紹介する展覧会を開催した。	6,226	
第58回鳥取市民美術展	R1. 6. 2 ～ R1. 6. 9	鳥取市民に芸術作品を創作する意欲を促すとともに、優れた作品を展示することにより市民に鑑賞の機会を提供し、鳥取市及び鳥取県東部地区の美術振興に寄与するための展覧会を開催した。	2,477	鳥取市
企画展「手塚治虫のメッセージ：人と動物、共に生きるために」	R1. 7. 13 ～ R1. 8. 25	人との関わりの中で消えていった動物や、今まさに引き起こされている問題を、手塚治虫のマンガとともに紹介し、人と動物の在り方を考える展示を行った。	8,841	
第63回鳥取県美術展覧会	R1. 9. 14 ～ R1. 9. 23	広く県民の方から美術作品を募り、優れた作品を展示することにより、創作活動の振興を図るとともに、鑑賞の機会を提供し、県内の美術、文化の振興に寄与する展覧会を開催した。	4,356	鳥取県 (文化政 策課)
企画展「殿様の愛した禅 黄檗文化とその名宝」	R1. 10. 5 ～ R1. 11. 4	江戸時代鳥取における黄檗宗に光を当てる初めての試みで、鳥取の文化に大きな影響を与えた黄檗の歴史を紹介した。	3,933	
企画展「生誕120年芸術写真の神様塩谷定好とその時代」	R1. 11. 16 ～ R1. 12. 15	塩谷定好の生誕120年を記念し、1920年代の初期作品からあまり知られてこなかった戦後1970年代までの作品を一堂に紹介するとともに、日本写真史における芸術写真のムーヴメントを牽引してきた代表的な作家や、塩谷と同時代に活動していた写真家たちの作品も併せて展観する回顧展を行った。	2,498	
第17回鳥取県ジュニア美術展覧会	R1. 12. 21 ～ R2. 1. 5	鳥取県の児童・生徒等の創作作品を発表する場を提供し、出展機会を拡大することで、芸術文化活動への意欲を高め、県内の青少年の美術活動の振興を図るための展覧会を開催した。	2,472	鳥取県 (文化政 策課)
鳥取県写真家連盟展第21回合同写真展	R2. 1. 9 ～ R2. 1. 17	写真愛好家の活動を広く紹介するため、鳥取県写真家連盟加入団体の会員作品を一堂に展示した。	672	鳥取県写 真家連盟
あいサポート・アートとっとり展東部巡回展	R2. 1. 10 ～ R2. 1. 15	平成26年度に開催した「第14回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会(あいサポート・アートとっとりフェスタ)」の成果を未来に引き継ぐため、障がい者が取り組む作品制作活動の発表と鑑賞の機会を提供することを目的に、令和元年12月8日に開幕した令和元年度鳥取県障がい者芸術・文化作品展「あいサポート・アートとっとり展」の東部巡回展を開催した。	979	鳥取県 (障がい 福祉課)

展覧会名	期間	内容	入館者数 (人)	備考
企画展「生誕100年 國領經郎展—静寂なる 砂の景—」	R2. 1. 25 ～ R2. 2. 25	國領經郎の生誕100年を記念し、あらためてその画業を見つめなおそうとするもので、國領出身地である横浜市の横浜美術館、鳥取県立博物館、酒田市美術館が所蔵する國領作品を中心に構成する回顧展を行った。	1,775	
鳥取県文化功労賞受賞 記念巡回展	R2. 1. 25 ～ R2. 2. 2	鳥取県では、優れた芸術文化活動により広く文化振興に功績のあった方の功績を讃えて鳥取県文化功労賞を設置しており、本展において令和元年度に受賞された方の功績と活動を広く紹介した。	787	鳥取県 (文化政策課)
第43回鳥取書道連盟 展	R2. 3. 5 ～ R2. 3. 8	鳥取書道連盟は県東部地域を中心とした約300名の会員からなり、そのうち119名による漢字、仮名、漢字仮名交じり書と幅広いジャンルの作品を展示した。	505	鳥取書道 連盟
合 計			35,893	

ウ 普及活動

(ア) 移動博物館

テーマ	場 所	期 日	定員	参加人数
自然・人文 とつとりの自然と歴史 in 境港	海とくらしの史料館	10月11日(金)～ 10月17日(木)		384
人文 特別移動展示「変わりゆく郷土 写真で見るとつとり1968-2018」	倉吉博物館	7月3日(水)～ 7月21日(日)		346
特別移動展示「変わりゆく郷土 写真で見るとつとり1968-2018」	八頭町中央公民館	8月1日(木)～ 8月14日(水)		54
特別移動展示「変わりゆく郷土 写真で見るとつとり1968-2018」	ヴィレステひえづ	8月28日(水)～ 9月11日(水)		734
特別移動展示「変わりゆく郷土 写真で見るとつとり1968-2018」	大山町立名和公民館	12月6日(金)～ 12月19日(木)		54
特別移動展示「変わりゆく郷土 写真で見るとつとり1968-2018」	岩美町中央公民館	1月7日(火)～ 1月16日(木)		465
合 計 6 回				2,037

(イ) 出前展示

テーマ	場 所	期 日	定員	参加人数
自然 《出前展示》鳥取県の化石	岩倉小学校	6月10日(月)～ 6月17日(月)		8
《出前展示》鳥取県の化石	八東小学校	10月28日(月)～ 11月8日(金)		63
《出前展示》レッドデータブックとつとりのいきもの、鳥取県の化石	岩美町中央公民館	3月16日(月)～ 3月30日(月)		中止
合 計 3 回				71

(ウ) 移動美術館

テーマ	場 所	期 日	定員	参加人数
《館外普及事業》「岡村吉右衛門、生田和孝と民藝運動の巨匠たち」	石谷家住宅	6月1日(土)～ 6月23日(日)		1,465
《館外普及事業》「とつとりの美術散歩—名品セレクション編」	日南町美術館	7月26日(金)～ 8月18日(日)		462
合 計 2 回				1,927

(エ) ① 学芸員派遣(教職員向け講師・指導助言)

テーマ	場 所	期 日	定員	参加人数
自然 浦富海岸に自生する希少植物の現地確認	岩美町浦富海岸	5月9日(木)		3
鳥取県生物多様性地域戦略策定へ向けた検討会	中部総合事務所	10月1日(火)		16
鳥取県生物多様性地域戦略策定へ向けた検討会(第2回)	中部総合事務所	12月20日(金)		16
人文 鳥取城について	博物館展示室、鳥取城跡	7月9日(火)		8
暦と歳時(年中行事と祭礼)	福生西小学校	1月8日(水)		50
美術 図画工作科・美術科に係る教職員研修	米子養護学校	8月20日(火)		28
中部地区教育研究会図画工作部会	博物館	11月6日(水)		23
合 計 7 回				144

(エ) ② 学芸員派遣

テーマ	場 所	期 日	定員	参加人数
自然 自然観察会(NACS-J自然観察指導員講習会の地域観察会のテーマを探る)	大山町大山寺地区	4月14日(日)		8
研修会「久松山の優れた自然」	久松地区公民館	4月20日(土)		38
歴史・自然探訪会	岩美町浦富桐山城跡	4月27日(土)		16
第550回自然観察指導員講習会・鳥取	大山町大山とやま旅館	5月11日(土)～ 5月12日(日)	60	74

テーマ		場 所	期 日	定員	参加人数
自然 の続き	地域植生の現地学習会（森のガイド育成）	智頭町芦津溪	5月18日(土)		7
	成人教育「野草を楽しむ」	湯梨浜町中央公民館羽合分館・馬の山	5月28日(火)		22
	親子でいっしょに楽しむ講座⑥「押し花の作り方を学ぼう」	鳥取市中央図書館	7月24日(水)		46
	米子こどもの科学教室2019 実験教室（自然観察会）	鳥取県立武道館	11月16日(土)		80
	体育・レク教育「秋を楽しむ ー野草の観察ー」	多鯨ヶ池弁財天・多鯨ヶ池探勝路	11月21日(木)		26
	糸録池自然観察会	鳥取市鹿野町糸録池	1月19日(日)		5
	久松山を考える会研修会「続・久松山の優れた自然」	久松地区公民館	2月8日(土)		35
	唐川湿原観察会	岩美町唐川湿原	2月15日(土)		10
	米子城跡定点観察会	湊山公園(米子城跡)	3月14日(土)		13
人文	古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	毎月 ※3月は中止		272
	高校生のための古文書ワークショップ	博物館会議室	6月9日(日)	10	6
	常設展解説のための考古学基礎講座	博物館会議室	6月23日(日)		12
美術	コレクション宅配便	境港市立第三中学校	6月12日(水)		95
	ワークショップ「紙コップ10000個でアート」	琴浦町立浦安小学校	6月13日(木)		35
	アーティストの世界にふれてみよう	散岐小学校	6月27日(木)、28日(金)		29
	ワークショップ「落書きばんざい！」	中ノ郷公民館	7月30日(火)		73
	ワークショップ「色水で遊ぼう」	境港市中浜公民館	8月1日(木)		50
	コレクション宅配便	湯梨浜町中央公民館羽合分館	8月5日(月)		82
	ワークショップ「不思議な絵の具で描いてみよう！」	松の聖母学園	8月8日(木)		15
	アーティストの世界にふれてみよう	溝口中学校	8月22日(木)		12
	バス招待事業事前授業	浦安小学校	9月24日(火)		68
	バス招待事業事前授業	明道小学校	9月26日(木)		51
	学芸員派遣「不思議な絵の具で描いてみよう！」	若葉台小学校	9月27日(金)		70
	バス招待事業事前授業	逢坂小学校	9月30日(月)		33
	バス招待事業事前授業	宮ノ下小学校	10月1日(火)		55
	バス招待事業事前授業	面影小学校	10月2日(水)		68
	バス招待事業事前授業	用瀬小学校	10月4日(金)		43
	バス招待事業(用瀬小学校)	博物館展示室	10月7日(月)		43
	バス招待事業(宮ノ下小学校)	博物館展示室	10月8日(火)		55
	バス招待事業(明道小学校)	博物館展示室	10月8日(火)		51
	バス招待事業(面影小学校)	博物館展示室	10月8日(火)		68
	バス招待事業(逢坂小学校)	博物館展示室	10月9日(水)		33
	コレクション宅配便	大山中学校	10月15日(火)		51
	バス招待事業事前授業	住吉小学校	10月16日(水)		116
バス招待事業(住吉小学校)	博物館展示室	10月21日(月)		116	
学芸員派遣	溝口公民館	10月23日(水)		41	

テーマ		場 所	期 日	定員	参加人数
美術 の続き	バス招待事業事前授業	湖山西小学校	10月24日(木)		52
	バス招待事業事前授業	岸本小学校	10月25日(金)		51
	バス招待事業(湖山西小学校)	博物館展示室	10月29日(火)		52
	バス招待事業(浦安小学校)	博物館展示室	10月31日(木)		68
	バス招待事業事前授業	明治小学校	10月31日(木)		16
	バス招待事業(明治小学校)	博物館展示室	11月5日(火)		16
	バス招待事業事前授業	義方小学校	11月12日(火)		82
	バス招待事業(義方小学校)	博物館展示室	11月15日(金)		82
	バス招待事業(岸本小学校)	博物館展示室	11月15日(金)		54
	バス招待事業事前授業	国府東小学校	11月20日(水)		12
	バス招待事業(国府東小学校)	博物館展示室	11月26日(火)		13
	学芸員派遣	鳥取市教育センター適応教室すなはま	11月27日(水)		16
	コレクション宅配便	淀江小学校	12月3日(火)		101
	コレクション宅配便	鳥取短期大学	12月10日(火)		93
	コレクション宅配便	三朝小学校	12月17日(火)		59
学芸員派遣	啓成小学校	2月15日(土)		73	
合 計 56 回					2,863

(オ) 教員向けイベント

テーマ	場 所	期 日	定員	参加人数
教員のための博物館の日2019 in 鳥取県立博物館	博物館講堂, 博物館展示室	7月29日(月)		55
合 計 1 回				55

(カ) 普及講座・講演会

● 自然部門

行 事 名	場 所	期 日	定員	参加人数
《天体観望会》春の星を見る会	博物館前庭	4月27日(土)		25
《野外観察会》鳥取県生物学会員と歩く「生物観察会」in 打吹山	倉吉市打吹山	5月19日(日)	30	78
《野外観察会》自然観察さいしょの一步	米子湊山公園(米子城跡)	6月1日(土)	20	30
《野外観察会》粘菌をさがして標本をつくろう(照葉樹林編)	会議室、博物館周辺	6月30日(日)	20	21
《野外観察会》ジャングル大帝(劇場版)	博物館講堂	7月27日(土)	250	149
《野外観察会》川原の石をしらべよう!	鳥取市河原町和奈見	7月28日(日)	20	8
《野外観察会》標本を調べる会	博物館会議室	8月18日(日)		40
《天体観望会》夏の星を見る会	博物館多目的広場	8月24日(土)		7
《野外観察会》虫の音を聞く会～鳴く虫聞き分け講座～	博物館会議室、博物館周辺、重箱緑地公園	9月7日(土)	20	7
《野外観察会》みて! さわって! ホネを楽しもう	博物館会議室	9月29日(日)	15	12
《野外観察会》きのこを調べる会	大山町大山下山キャンプ場	10月12日(土)	30	中止
《野外観察会》粘菌をさがして標本をつくろう(ブナ林編)	とやま旅館(大山町大山)	10月20日(日)	20	14

● 自然部門 の続き

行 事 名	場 所	期 日	定員	参加人数
《野外観察会》鉱物の秋 ～ヒカリモノをさがしに出かけよう～(化石もあるよ)	鳥取市国府町上地	10月20日(日)	20	36
《野外観察会》おちばの中のモンスターをさがそう in 倉吉	倉吉市打吹公園	10月27日(日)	20	20
《野外観察会》はじめてのバードウォッチング	鳥取市湖山池	11月23日(土)	20	9
《講演会》目からうろこ！ タンポポの本当のはなし	博物館講堂	12月7日(土)	250	60
《野外観察会》砂つぶトレジャーハンティング！	博物館会議室	12月15日(日)	20	11
合 計 17 回				527

● 人文部門

行 事 名	場 所	期 日	定員	参加人数
《歴史講座》大名池田家の国替えに関する試論	博物館会議室	4月13日(土)		25
《歴史講座》尼子勝久・山中鹿介の挑戦—尼子再興戦450年—	博物館講堂	5月19日(日)	230	60
《歴史講座》戦国大名毛利氏による伯耆国大山寺の造営事業	博物館会議室	6月8日(土)		12
《歴史講座》1920年代の鳥取県西部の鉄道敷設運動	博物館会議室	7月13日(土)		13
《歴史講座》色々な紙を巻物にしよう	博物館会議室	7月21日(日)	20	11
《ギャラリートーク》展示解説「蒔絵の美」	歴史・民俗展示室	7月28日(日)		13
《民俗講座》鳥取県の民話を聞く会	歴史・民俗展示室	8月18日(日)	40	35
《ギャラリートーク》展示解説「蒔絵の美」	歴史・民俗展示室	8月18日(日)		9
《歴史講座》天保改革期の因州鳥取藩財政—鴻池新十郎「日記」天保14年より—	博物館会議室	8月24日(土)		20
《歴史講座》泥塔クッキーをつくろう	久松地区公民館	9月13日(金)	10	4
《歴史講座》泥塔クッキーをつくろう	久松地区公民館	9月14日(土)	10	9
《歴史講座》豪円の寺院再興と近世大山寺の成立	米子市立図書館2階研修室	9月14日(土)	200	50
《特別講演会》「黄檗宗と明清文化の流行」	博物館講堂	10月6日(日)	250	61
《ギャラリートーク》担当者による黄檗トーク	博物館展示室	10月6日(日)		14
《歴史講座》「やきもの」からみた鳥取城内・城下・村—発掘調査の成果から—	博物館会議室	10月12日(土)		9
《ギャラリートーク》担当者による黄檗トーク	博物館展示室	10月12日(土)		30
《歴史講座》「鳥取こちずぶらり」でまち歩き—興禅寺周辺をぶらり—	鳥取市栗谷町界隈	10月13日(日)	15	15
《歴史講座》黄檗と鳥取の関係をやさしくひも解くりレポート	博物館講堂	10月20日(日)	250	91
《ギャラリートーク》担当者による黄檗トーク	博物館展示室	10月20日(日)		31
《企画展関連体験講座》隠元さんが伝えた煎茶体験(2回開催)	博物館会議室	10月27日(日)	40	40
《ギャラリートーク》担当者による黄檗トーク	博物館展示室	11月4日(日)		100
《歴史講座》因幡守護山名豊時・豊重父子と室町幕府	博物館会議室	11月9日(土)		25
《歴史講座》古戦場・山城・荘園をあるく—山名氏の伯耆支配と上神地域—	倉吉市内	11月10日(日)	20	21
《講演会》日常学としての民俗学—柳田國男と橋浦泰雄から考える—	博物館講堂	12月8日(日)	230	68
《歴史講座》鳥取県立図書館所蔵和古書の伝世について	博物館会議室	12月14日(土)		16
《民俗講座》鳥取県の民話を聞く会	博物館展示室	12月22日(日)	40	28
《歴史講座》文明11年(1479)における大山寺根本中堂の再興勸進状について	博物館会議室	1月18日(土)		16
《歴史講座》考古学の実測図—見る・描く・楽しむ—	博物館会議室	2月9日(日)	10	8

● 人文部門 の続き

行 事 名	場 所	期 日	定員	参加人数
《講演会》記念講演会「鳥取ゆかりの力士たち」	博物館講堂	2月23日(日)	250	85
《歴史講座》近世中後期の鳥取藩と公家—公家への「出入」・「立入」を事例に	博物館会議室	3月14日(土)		中止
《歴史講座》古文書講座—鳥取藩の古文書を楽しむ	博物館会議室	3月15日(日)	20	中止
《歴史講座》伯耆往来をあるく(下市～御来屋)	大山町内	3月20日(金)	20	中止
《歴史講座》古文書講座—鳥取藩の古文書を楽しむ	博物館会議室	3月22日(日)	20	中止
合 計 33 回				919

● 美術部門

行 事 名	場 所	期 日	定員	参加人数
《ワークショップつくり隊のワークショップ》平成最後のふるまい茶会 4	博物館前庭	4月6日(土)	30	52
《ギャラリートーク》企画展「ニューヨーク・アートシーン」①	博物館講堂	4月13日(土)	40	51
《スペシャルアートシアター》「ニューヨークジャクソン・ハイツへようこそ」	博物館講堂	4月20日(土)	250	42
《特別講演会》「パクス・アメリカーナの夢と現実」	博物館講堂	4月27日(土)	250	34
《ワークショップ》巨大こいのぼりをつくっちゃお！	倉吉未来中心ホワイエ	4月29日(月)		401
《ワークショップ》らくがきばんざい！	博物館前庭	5月4日(土)		75
《アートセミナー》アメリカ美術の勝利	博物館講堂	5月11日(土)	250	38
《ギャラリートーク》企画展「ニューヨーク・アートシーン」②	博物館展示室	5月18日(土)		44
《ギャラリートーク》コレクション展「美術家大辞典」おしゃべりアートツアー	博物館展示室	5月25日(土)	12	10
《ギャラリートーク》コレクション展「美術家大辞典」	博物館展示室	6月1日(土)		6
《ギャラリートーク》移動美術館智頭展「岡村吉右衛門、生田和孝と、民藝運動の巨匠たち展」	石谷家住宅一号蔵展示室	6月8日(土)		9
《スペシャルアートシアター》「顔たち、ところどころ」	博物館講堂	6月15日(土)	250	30
《スペシャルアートシアター》「顔たち、ところどころ」	博物館講堂	6月22日(土)	250	45
《ワークショップつくり隊によるワークショップ》窓辺のオブジェをつくろう！	博物館展示室	6月29日(土)	20	18
《アートシアター》若沖と江戸絵画 どうぶつたちの生きる力とユーモア	博物館講堂	7月6日(土)	250	8
《ギャラリートーク》コレクション展「美術家大辞典—近世以前編」	博物館展示室	7月13日(土)		3
《スペシャルワークショップ》北斗座舞踏—新しき年の始の舞 —失われた肉体と祖国を求めて	博物館会議室	7月20日(土)		42
《夏休み企画》「アートとの遭遇」展関連「まいにち！ワークショップまつり」	博物館展示室	7月23日(火)~ 8月25日(日)		555
《スペシャルワークショップ》キミはアートの目撃者 —作品を見ながら話してみよう！	博物館展示室	7月27日(土)	10	9
《館外普及事業×伯耆しあわせの郷 連携ワークショップ》ピニールトンネルをつくっちゃお！	伯耆しあわせの郷	8月3日(土)	50	11
《ワークショップ》泥でアート！	博物館地下バックヤード	8月10日(土)		50
《スペシャルアートシアター》「夜のとばりの物語」	博物館講堂	8月17日(土)	250	39
《館外普及事業》ミュージアムサロン10 アートと未来と社会について 奥田英範×赤井あずみ	本の学校	8月30日(金)		35
《ギャラリートーク》コレクション展「美術家大辞典 近世以前編か行」	博物館展示室	8月31日(土)		5
《ワークショップ》フリーペーパーづくりにまつわるワークショップ	倉吉交流プラザ	9月7日(土)	24	24
《スペシャルアートシアター》「メットガラドレスをまとった美術館」	博物館講堂	9月7日(土)	250	31
《スペシャルアートシアター》「メットガラドレスをまとった美術館」	博物館講堂	9月14日(土)	250	46



● 美術部門 の続き

行 事 名	場 所	期 日	定員	参加 人数
《ワークショップ》らくがきばんざい！秋編	博物館前庭	9月21日(土)		中止
《ワークショップ》手びねり体験 -オリジナルのお茶碗づくりに挑戦！	博物館会議室	9月28日(土)	15	10
《アートシアター》「円山応挙 生を写し、気を描く」	博物館講堂	10月12日(土)	250	12
《ワークショップ》「美術館ができるまでを伝えるフリーペーパー」の記事作成のための講座①【写真撮影編】	博物館会議室	10月19日(土)	20	15
《スペシャルギャラリートーク》コレクション展 美術家大辞典「時代とともに語る鳥取美術」	博物館展示室	10月26日(土)		25
《ワークショップ》らくがきばんざい！秋編	博物館前庭	11月2日(土)		32
《ワークショップ》「美術館ができるまでを伝えるフリーペーパー」の発送作業を一緒にやってみませんか？	倉吉市内	11月9日(土)		10
《ギャラリートーク》企画展「塩谷定好とその時代」①	博物館展示室	11月16日(土)		46
《アートツアー》「塩谷定好の赤碕」を巡るツアー	塩谷定好写真記念館	11月23日(土)	20	20
《アートシアター》パリが愛した写真家ロベール・ド・アノー〈永遠の3秒〉	博物館講堂	11月30日(土)	250	45
《特別講演会》塩谷定好とその時代	博物館展示室	12月7日(土)	250	35
《ギャラリートーク》企画展「塩谷定好とその時代」②	博物館展示室	12月14日(土)		52
《ワークショップ》捨てちゃおうポスターでいろんなものをつくろう！	1階休憩スペース	12月21日(土)		17
《ギャラリートーク》コレクション展「美術家大辞典 近世以前編さ行(下巻)」	博物館展示室	1月11日(土)		2
《ワークショップ》「美術館ができるまでを伝えるフリーペーパー」の記事作成のための講座②【ライティング編】	米子市立図書館研修室	1月18日(土)	20	10
《スペシャルギャラリートーク》國領経郎の思い出とともに	博物館展示室	1月25日(土)		56
《ギャラリートーク》企画展「生誕100年 國領経郎展」①	博物館展示室	2月1日(土)		30
《スペシャルアートシアター》「砂の女」	博物館講堂	2月8日(土)	250	45
《ギャラリートーク》企画展「生誕100年 國領経郎展」②	博物館展示室	2月15日(土)		28
《ワークショップ》カメラをもって、砂丘を歩く	博物館、鳥取砂丘	2月22日(土)	15	7
《スペシャルアートレクチャー》『“伝える”ことは“きく”こと』～わかろうとする感性を磨こう～	博物館講堂	2月29日(土)	250	中止
《ワークショップ》「おでかけ大辞典 -新米学芸員と街ぶらー」	鳥取市内	3月7日(土)	20	中止
《館外普及事業》ミュージアムサロン11 アートと未来と社会について 北村恭一×赤井あずみ	西郷地区公民館	3月12日(木)		中止
《アートシアター》100人の子供たちが列車を待っている	博物館講堂	3月14日(土)	250	中止
《ギャラリートーク》コレクション展「美術家大辞典 近世以前編な行」	博物館展示室	3月21日(土)		中止
《館外普及事業》ミュージアムサロン12 アートと未来と社会について 宮原翔太郎×赤井あずみ	喫茶ミラクル(鳥取市気高町浜村)	3月28日(土)		中止
《ワークショップ》「美術館ができるまでを伝えるフリーペーパー」の発送作業を一緒にやってみませんか？(公開発送作業)	倉吉未来中心ホワイエ	3月28日(土)		中止
合 計 54 回				2,210
総参加者数				10,753

エ 調査研究活動

分野	事項
地学	鳥取県の地形地質と化石に関する調査研究
動物	鳥取県の動物相および動物の分類に関する調査研究 鳥取県沿岸の漂着動物に関する調査研究
植物	鳥取県の植物相および植物の分類に関する調査研究
考古	館蔵品の調査研究 鳥取県内の原始・古代の遺跡の調査研究
歴史	鳥取県内の石造物調査研究 山陰地方ゆかりの宸筆の研究 鳥取県の貿易陶磁に関する調査研究 鳥取藩政資料およびそのデジタル化に関する調査研究 鳥取県内の戦争遺跡に関する調査研究 鳥取県の酒造業に関する調査研究
民俗	鳥取県内の社寺の棟札に関する調査研究 東京オリンピック関係資料の調査研究
美術	鳥取県に関係した美術資料、作家や作品等に関する調査研究 令和元年度企画展(「ニューヨーク・アートシーン展」「生誕120年 塩谷定好とその時代」「生誕100年 國領經郎展」)、および令和2年度企画展(「ザ・フィンランドデザイン展」「ミュージアムとの創造的対話vol. 3」「岡本太郎とクルト・セリグマン展」)等に関する調査研究
教育普及	教育プログラムの開発に関わる研究

2.1 博物館資料保有状況

(単位：点)

区分	前年度末 保有点数	本年度増加点数					本年度中 減少点数	本年度末 保有点数
		購入	寄贈	採集	保管換	分類換		
地学	8,131		1				92	8,040
動物	27,076		1					27,077
植物	55,539	4	117					55,660
歴史	54,121	2	652					54,775
近現代資料	7,812	138	5					7,955
民俗	3,766	52	299					4,117
考古	8,278		14					8,292
美術	9,616	4	150		1			9,771
合計	174,339	200	1,239	0	1	0	92	175,687